

関西大学幼稚園

2024 年度学校評価報告書



2025 年 3 月

目 次

2024 年度 関西大学幼稚園 学校評価（自己点検・評価）分析

1	本園の概要	1
2	今年度の教育活動状況	1
3	評価の実施にあたって	1
4	評価の分析	3
5	学校関係者評価委員会からの評価結果	18
6	「学校評価（自己点検・評価）報告書」に対する園長の意見書	20
7	アンケート結果	21

1 本園の概要

関西大学幼稚園は、教育基本法を十分に尊重し、すべての園児が各自の人間性や能力を全面的に開花させていくことを目的として1951年に開設され、創立73年目を迎えている。

本園は、「自主性の陶冶」「協同性の涵養」「生きる力の育成」の3本の柱を教育の基本方針とし、さまざまな環境や境遇に育った子どもたちが、幼稚園の新しい環境と集団生活に適応できるように教育活動を実践している。「いきいきと自己表現ができ、積極的にいろいろなことに取り組むことのできる子どもにすること」「みんなで協同して仕事をしたり、遊んだりすることのできる子どもにすること」「困難に出会った時、前向きに解決していける豊かな感性と生活の知恵をもつ子どもにすること」を子どもの育ちのなかで見逃すことなく働きかけながら、子どもが子どもらしい感性を発揮し、心豊かに人間らしく育つことを、時代を越えて守っていかなければならないと考えている。

また、本園は自然環境に恵まれ、園舎前面に運動場があり、園庭には楠、桜、いちよう、せんだん、くぬぎ、かえで、つつじ、つばき、きんもくせいのほか、裏山には松、かし等の樹木に囲まれている。また、ざくろ、みかん、柿、ジューンベリー、ブルーベリー等の実のなる木や草花の存在は、子どもたちに四季折々の自然を身近に感じさせる楽しみとなっており、情操教育の一助となっている。

このような環境の中で、教育学や心理学及びその他の諸科学の進歩に即しながら、子どもたちの感覚を豊かにすることに重点を置きつつ、認識、情操、能力、健全な心と体の発達を図るための保育を開設以来積み重ねている。

一方、本園を運営する学校法人関西大学は、「Kandai Vision 150」に基づき、その実現のために、中期行動計画を策定し実施している。本園においても、この枠組みの中で基本方針と中期行動計画の連関を意識しながら教育活動を実践している。

2 今年度の教育活動状況

併設校の利点を生かした大学との連携に関しては、関西大学国際部と連携し、保育時間中に外国人留学生を招き、園児と交流を深める取り組みを年中・年長組は5月より実施した。また、英語を話す外国人留学生との交流は、年中・年長組は5月から、年少組は10月より週一回定期的に実施し、英語への興味関心を持てる時間となった。関西大学文化会の学生による演奏を鑑賞する「楽しいつどい」は、11月にグリークラブ、1月に邦楽部、2月に交響楽団に来ていただき実施することができた。関西大学大学院心理科学研究科の「心理アセスメント演習2」の一環として本園で実施する短期実習も実施することができた。

3 評価の実施にあたって

本園の自己点検・評価（学校評価）は、2020年度から、関西大学幼稚園教育課程における内容と幼稚園教育要領の5領域との関連に焦点をあて、本来は3年かけて一巡する計画で

あったが、コロナ禍で実施できなかった教育内容もあり5年に延長し、一巡する評価方法とする。今年度は5年目である。

幼児教育は、何より保護者（家庭）との連携が重要であることから、保護者と直接関わる「クラス懇談会」において、本園の教育内容と幼稚園教育要領の5領域との関連を伝え、5領域を保育に組み込んでいることを理解していただけたかを点検・評価する取り組みにした。5領域の内容については、事前に保護者に手紙で周知し、理解を深めていただけるようにした。

本園では下表のように評価活動の年次計画をまとめている。

2024年度 クラス懇談会での学校評価の内容

月	年少組	年中組	年長組
6月	プール遊びについて		
9月		わらべうた遊びについて	おやつ作り、縄跳び作りについて
11月	焼き芋について	留学生との交流・英語で遊ぼうについて	
1月		鏡開きについて	
2月	楽しいつどいについて		マフラー作りについて

*クラス懇談会終了後に、アンケートをとるようにしたり、悩みや質問については次回のクラス懇談会での話題にしたり、個別に対応している。

2024年度の本園における主な自己点検・評価活動は以下の通りである。

日付	議題	内容
5月7日(火)	今年度の学校評価について	
5月13日(月)	今年度の保護者・教員アンケートについて	・アンケート項目の作成
6月26日(水) 6月27日(木)	年少組クラス懇談会にてアンケート実施	・今年度の学校評価アンケート集計
9月13日(金) 9月17日(火)	年中組クラス懇談会にてアンケート実施	・今年度の学校評価アンケート集計
9月25日(水) 9月26日(木)	年長組クラス懇談会にてアンケート実施	・今年度の学校評価アンケート集計
11月22日(金)	年少組クラス懇談会にてアンケート実施	・今年度の学校評価アンケート集計

11月25日(月)	年中組クラス懇談会にてアンケート	・今年度の学校評価アンケート集計
11月26日(火)	実施	
1月27日(月)	年中組クラス懇談会にてアンケート	・今年度の学校評価アンケート集計
1月29日(水)	実施	
2月13日(木)	年少組クラス懇談会にてアンケート	・今年度の学校評価アンケート集計
2月14日(金)	実施	
2月26日(水)	年長組クラス懇談会にてアンケート	・今年度の学校評価アンケート集計
2月27日(木)	実施	
3月4日(火)	教員用アンケート実施・集計	
3月14日(金)	学校関係者評価委員会開催	

本園の学校評価活動の特徴として、2010年度から保護者にも協力を仰ぎ、保護者と教員との間で本園の教育についての意識が共有できているかを検証している。今年度もクラス懇談会終了後に保護者アンケートを実施した。回収率は94.2%であった。

4 評価の分析

(1) 年少組6月クラス懇談会

プール遊びについて

【現状の説明】

本園には屋外に5m×10mのプール施設がある。プールの水は毎日入れ替え、きれいな水の状態で利用している。学年により水深を変えるため、年少組・年中組・年長組の順番でプール遊びをしている。

プール遊びについては以下のような幼稚園教育要領の5領域のねらいと内容との関連を意識し取り組んでいる。

- 「健康」
- ・様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。
 - ・明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。
 - ・自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。
 - ・健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。
 - ・いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。
 - ・身の回りを清潔にし、衣服の着脱、食事、排泄などの生活に必要な活動を自分でする。
 - ・自分の健康に関心をもち、病気の予防などに必要な活動を進んで行う。
 - ・危険な場所、危険な遊び方、災害時などの行動の仕方が分かり、安全に気を付けて行動する。
- 「人間関係」
- ・先生や友達と共に過ごすことの喜びを味わう。
 - ・自分で考え、自分で行動する。
 - ・自分でできることは自分でする。

- ・よいことや悪いことがあることに気づき、考えながら行動する。
- ・友だちと楽しく生活する中できまりの大切さに気づき、守ろうとする。
- 「環境」
 - ・身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもつ。
 - ・季節により自然や人間の生活に変化のあることに気づく。
 - ・生活の中で、様々な物に触れ、その性質や仕組みに興味や関心をもつ。
- 「言葉」
 - ・先生や友達の言葉や話に興味や関心をもち、親しみをもって聞いたり、話したりする。
 - ・したり、見たり、聞いたり、感じたり、考えたりなどしたことを自分なりに言葉で表現する。
 - ・したいこと、してほしいことを言葉で表現したり、わからないことを尋ねたりする。
- 「表現」
 - ・感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。

本園のプール遊びは、泳げるようになることが目的ではなく、水に慣れ親しみながら水の心地よさを感じることを大切にしている。プール内では玩具を使わず身体を動かしたり、水の中でかけっこをしたり、わらべうた遊びをして遊ぶ楽しさを感じられるように指導している。(健康・表現) 子どもたちには、生活面の話(夜は早く寝る、朝食を食べて登園する等)をし、健康に過ごすことでプール遊びを楽しめることや、プール遊びに必要なものを伝え、楽しみな気持ちで自ら準備をする意欲を引き出せるように話をしている。(健康・人間関係・言葉) 着替えでは、脱いだ順に畳むと着る時に着やすいことを知る、濡れた物はすぐに袋に入れる、自分で身体を拭く等積み重ねにより身の自立を助け、自分の持ち物の管理を意識できるように働きかけている。教員は、プールでの安全に十分に注意を払い、子どもたちにはプールでは約束を守って遊ぶこと(友だちの上に乗らない・手足をつかまない・飛び込まない・走らない等)を伝え、約束を守って遊ぶことができるように指導している。(健康・人間関係) また太陽が水や身体を温めていることを感じ、空を見上げることで天気の様子を知ることも大切にしている。(環境・表現)

今回の懇談会では、子どもが自分でプールの用意ができるよう家庭でも見守ってほしいことを伝えた。また、水が苦手でも友だちと一緒にやってみようとする子どもの様子を具体的に伝えることで、保護者にプール遊びの様子がイメージできるように工夫し話した。

【点検・評価と今後の取り組み】

保護者アンケート調査によると『プール遊び』に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いましたか。」という設問に対し、「思った」との回答が96.4%、「まあまあ思った」との回答が3.6%で、その中の理由として「関連していると思うが年少には難しいのではと思うので。」という記述があった。また、『プール遊び』の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。」との設問に対し、

「水に頭から濡れることが苦手なので、少しずつ慣れさせていくように無理のない遊び方で安心しました。」「ただ自由に水あそびをするのではなく、年齢にあった遊び方・対応をしてくださっていることをありがたく思いました。」「お水を楽しむだけでなく、ルールを守ってプール遊びをするために色々と工夫していただいていることが沢山見えました。」「水着に着替える時やプールで遊ぶ時、子どもたちのやる気を大事にして、子どもを見て対応してくださっていることが伝わってきました。また、分かりやすい表現で、先生が一度やって見せる、というのも子どもたちは理解しやすく素敵なことだと思いました。」という記述回答があった。クラス懇談会で、子どもたちの姿を伝えたことで本園でのプール遊びを理解していただけ、保護者の安心に繋がったことがわかった。今後も保護者と一緒に子どもの育ちを見ながら、年齢に合った保育を考えていくことに努めていく。

（２）年中組 ９月クラス懇談会

わらべうた遊びについて

【現状の説明】

わらべうた遊びについては以下のような幼稚園教育要領の５領域のねらいと内容との関連を意識し取り組んでいる。

- | | |
|--------|--|
| 「健康」 | <ul style="list-style-type: none">・ 明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。・ 自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。・ 先生や友達と触れ合い、安定感をもって行動する。・ いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。・ 様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。 |
| 「人間関係」 | <ul style="list-style-type: none">・ 身近な人と親しみ、かかわりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感をもつ。・ 先生や友達と共に過ごすことの喜びを味わう。・ 友達と積極的にかかわりながら喜びや悲しみを共感し合う。・ 友達とのかかわりを深め、思いやりをもつ。 |
| 「言葉」 | <ul style="list-style-type: none">・ 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。・ したいこと、してほしいことを言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりする。・ 生活の中で言葉の楽しさや美しさに気づく。・ いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする。 |
| 「表現」 | <ul style="list-style-type: none">・ 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。・ 生活の中で様々な音、色、形、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむ。・ 音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりなどする楽しさを味わう。 |

わらべうたとは、日本で昔から歌い継がれてきた伝承的な遊び歌のことであり、子どもが歌いやすい音域のものになっている。わらべうた遊びを通して友だちと楽しさを共有することや、年齢に合わせて子どもが無理なく楽しめるものを取り入れている。(健康・人間関係・言葉・表現)

わらべうた遊びでは、歌や友だちの動きに合わせて身体を動かすことで、集団の中の一人であることを意識し、協調性が育まれることを大切にしている。普段保育室で過ごす中ではなかなか自分から友だちに関わるのが難しい子ども、わらべうた遊びをきっかけに色々な友だちと関わって遊ぶ経験ができる。また、みんなでひとつの遊びをすることで子ども同士の繋がりが深まると考える。遊びを繰り返し積み重ねることで、子ども同士でも楽しめるようになり、自由遊びの中で自然に集まり、近くにいる友だちを誘ってわらべうた遊びをしたり、プールで遊んでいる時にもわらべうたをして遊ぶなど遊びを展開する姿がある。(健康・人間関係・言葉・表現)

クラス懇談会では、保護者に子どもたちが行っているわらべうた遊びを体験していただいた。

【点検・評価と今後の取り組み】

保護者アンケート調査によると『わらべうた遊び』に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いましたか。」という設問に対し、「思った」との回答が95.7%、「まあまあ思った」の回答が2.2%であった。また、『わらべうた遊び』の話を聞いたり、やってみて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。」という設問に対し、「友だちと同じ気持ちを共有できる楽しさや嬉しさを味わえてより一層友だちとの絆も深まって良い機会だと思った。」「楽しく遊びながらルールを学べたり、色々な友だちと関わりを持てることはすごく素敵だと思った。」「子どもの頃を思い出し、とても懐かしい気持ちになりました。子どもが楽しくわらべうたで遊んでいるんだろうなと考えると温かい気持ちになりました。」という記述回答があった。また、子どもたちが感じているわらべうた遊びの楽しさを保護者にも知っていただくために、6月のリズム運動の参観後にもわらべうた遊びを体験していただいた。保護者から「楽しかったです。」「これは子どもも楽しめますね。」という声があり、わらべうた遊びの楽しさを実感していただけた。体験することで、よりわらべうた遊びで大事にしていることを感じていただけたことがわかった。今後も保育の中で年齢に合わせたわらべうた遊びを取り入れ、保護者が体験できる機会を継続していく。

(3) 年中組9月クラス懇談会

おやつ作りについて

【現状の説明】

おやつ作りについては以下のような幼稚園教育要領の5領域のねらいと内容との関連を

意識し取り組んでいる。

- 「健康」
 - ・様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。
 - ・先生や友達と食べることを楽しみ、食べ物への興味や関心をもつ。
 - ・身の回りを清潔にし、衣服の着脱、食事、排泄などの生活に必要な活動を自分でする。
- 「人間関係」
 - ・身近な人と親しみ、かかわりを深め、愛情や信頼感をもつ。
 - ・自分でできることは自分でする。
 - ・友達のよさに気付き、一緒に活動する楽しさを味わう。
 - ・友達と活動する中で、共通の目的を見だし、工夫したり、協力したりなどする。
 - ・共同の遊具や用具を大切にし、皆で使う。
- 「環境」
 - ・生活の中で、様々な物に触れ、その性質や仕組みに興味や関心をもつ。
 - ・季節により自然や人間の生活に変化のあることに気付く。
- 「言葉」
 - ・先生や友達の言葉や話に興味や関心を持ち、親しみを持って聞いたり、話したりする。
 - ・したり、見たり、聞いたり、感じたり、考えたりなどしたことを自分なりに言葉で表現する。
- 「表現」
 - ・生活の中で様々な音、形、色、手触り、動きなどに気付いたり、感じるなどして楽しむ。
 - ・さまざまな出来事の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わう。

園のおやつ作りとして、クッキー（冬至の時期はなんきん入り）とお月見団子を年長児が作っている。（健康）季節感を大切にし、友だちと一緒ににおやつを作ることや、友だちと一緒にいただく嬉しさや楽しさを感じることを大切にしている。（健康・人間関係・環境・言葉・表現）年少・年中児は、年長児が作ったクッキーを届けてもらうことで、作ってもらった嬉しさを感じ、年長児への憧れの気持ちと年長組になるまで待つ喜びが育まれることを大切に考えている。（人間関係）年長児にとっては、全園児のクッキーを届けることで、自分が作ったものが喜ばれる経験を大切にしている。

クッキー作りでは、材料を知り順番に混ぜ生地がなじんでいく様子や、柔らかくなっている様子等、生地の変化を感じられるように泡だて器を使い、一人ひとり混ぜることを経験している。手で形成した生地を、台所のオーブンで教員が焼く。作り終えた後、台所へ様子を見に行き、焼きあがる香りを感じ焼きあがるのを楽しみにしている。出来上がったクッキーは、大事そうに少しずつ食べていたり、嬉しそうに食べている姿が見られる。（人間関係・環境・言葉・表現）また、調理する前に手洗いを行うことやエプロンを着用する等、衛生面も意識させている。（健康）

十五夜ではお月見団子を作ることにより、昔の人が月の満ち欠けで農作物の種まきや収

穫の時期を知った知恵や、実りの恵みをもたらす月に感謝を込めて、収穫物と一緒に月に見立てたお団子をお供えしたこと等、昔からの知恵や日本の文化を伝えていくことを大切にしている。(環境) 団子を作るには、もち米・米粉・お湯を使うことを知り、生地を丸め団子を作る力加減や、手のひらを使い平たくすることを経験する。(環境・表現) お月見団子が出来上がると、年少・年中児の各保育室で配膳をする。きな粉をかけ、楊枝を添え、落とさないようにテーブルに運び、適量のお茶をコップに注ぐ等、年少・年中児のことを考え行動できるように働きかけている。その様子を見ている年少・年中児は、年長児の姿や様子から憧れや喜びを感じる心が育まれていくと考えている。(人間関係・言葉)

【点検・評価と今後の取り組み】

保護者アンケート調査によると、『おやつ作り』に関して幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いましたか。」という設問に対して、「思った」との回答が97.6%、「まあまあ思った」との回答が2.4%であった。また、『おやつ作り』の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですでお書きください。」という設問に対し、「お家でもお菓子作りは好きで、幼稚園でおやつを作れることを楽しみにしています。なかなか意識しないと冬至の“なんきん”や季節のものに触れることが少ないので、家でも意識できるきっかけにしています。」「クッキー作りやおだんご作りを通じて、みんなで力を合わせて作りあげる楽しさ、思いやり、譲り合い、生きていく上で大切なことをたくさん学ばせていただいています。お家でもいつも作ったことを知らせてくれて、楽しかった様子が伝わってきます。」「作業の中で力加減や衛生、食べ物の作られ方など、色々知ることができると思いました。楽しみながらそれらを経験できるのは素晴らしいことと思います。また、役割分担を話し合いで決める経験を繰り返すことで、協調性や友だちの気持ちを理解することができるのも素晴らしいと思います。」「自分達で食べることも、他の学年の子達に食べてもらえた嬉しさもすごく伝わってきていいなあと思いました。」「誰かのために作るという事が経験できるのはすごく貴重だと感じます。」等の記述があり、本園で大切にしていることを理解していただけていることがわかった。また、「自分で何かを作る、そして食べられることが本当に嬉しいようで、家でも卵焼きを作ったり、献立を考えてくれたりしています。」「家でもクッキーを作ってみたいとの事で、何度か作りました。祖父母にも食べてもらい、幼稚園とは少し違ったかたちかもしれませんが、共有できて楽しかったです。お月見だんごも挑戦してみたいです。」という記述があり、家庭での食育にも繋がっていることがわかった。今後も、おやつ作りを通して、食への興味や、季節感、人間関係を育めるように努めていく。

(4) 年長組9月クラス懇談会

なわとび作りについて

【現状の説明】

なわとび作りについては以下のような幼稚園教育要領の5領域のねらいと内容との関連

を意識し取り組んでいる。

- | | |
|--------|--|
| 「健康」 | <ul style="list-style-type: none">・明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。・先生や友達と触れ合い、安定感をもって行動する。・様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。 |
| 「人間関係」 | <ul style="list-style-type: none">・幼稚園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。・自分でできることは自分でする。・友達のよさに気付き、一緒に活動する楽しさを味わう。・友達と楽しく活動する中で共通の目的を見いだしたり、工夫したり、協力したりなどする。 |
| 「環境」 | <ul style="list-style-type: none">・身近な物を大切にする。・生活の中で様々なものに触れ、その性質や仕組みに興味や関心を持つ。 |
| 「言葉」 | <ul style="list-style-type: none">・したり、見たり、聞いたり、感じたり、考えたりなどしたことを自分なりに言葉で表現する。・したいこと、してほしいことを言葉で表現したり、わからないことを尋ねたりする。 |
| 「表現」 | <ul style="list-style-type: none">・かいたり、つくったりすることを楽しみ、遊びに使ったり、飾ったりなどする。 |

年長組の制作の一つとしてなわとび作りがある。子どもの身長以上の3本の布を三つ編みにしてなわとびを作っていく。なわとび作りは、指先だけでなく、足の指に布を挟み編み進めていくので、手と足の協応動作、根気と集中力を必要とするため、年長の2学期の取り組みとしている。子どもたちは昨年の年長児がリズム運動の時に使っていたことを見て知っているので、自分のなわとびをリズム運動の時に使用する事を楽しみにしながら取り組む姿がある。(健康) 編み始めは指の動きがぎこちないが、無理なく一人ひとりのペースで取り組み進められるようにし、子どものペースを尊重することで、集中して楽しみながら編み進める姿がある。(健康・人間関係) 編みながら友だちと会話を楽しんだり、困っている友だちがいたら教えたり、編みやすいように手を添えてあげるなど、友だちと関わりをもったり、助け合う経験も大切に考えている。(人間関係・言葉) また、時間をかけて出来上がった時には、大きな喜びと達成感を味わうことができ、大切に扱う姿が見られる。(環境・表現)

【点検・評価と今後の取り組み】

保護者アンケート調査によると『なわとび作り』に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いませんか。」という設問に対して「思った」との回答が100%であった。また『なわとび作り』の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですので書きください。」という設問に対しては、「自分の手や足を使って作っていくこ

とで五感を刺激できて良いと思う。」「手だけでなく、足も使ってすこしずつ頑張って作ったんだと嬉しそうに持って帰ってきた。」「少し難しかったようで、家でも練習していた。作りたいと思えるように子どもの気持ちを待っていただけるのがいいなと思った。」「自分で作ったものを自分で使うことにはすごく喜びがあると思った。」「子どものやりたい気持ちを大切にして各自の作るペースを待って下さるところがとても嬉しかった。」等の記述があった。これらのアンケートから本園が大切にしていることを理解していただけたことがわかった。今後もクラス懇談会で子どもの姿を交えて話をし、取り組みを行う意味を理解してもらえるように努めていく。

(5) 年少組 11 月クラス懇談会

焼き芋について

【現状の説明】

園内の畑に年長児が 6 月にさつまいもの苗を植え、水をやり、収穫したさつまいもを、秋が深まる 11 月中頃に園庭で焼き芋にして全園児で食べている。

焼き芋については以下のような幼稚園教育要領の 5 領域のねらいと内容との関連を意識して取り組んでいる。

- | | |
|--------|--|
| 「健康」 | ・ 様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。
・ 先生や友達と食べることを楽しむ。 |
| 「人間関係」 | ・ 先生や友達と共に過ごすことの喜びを味わう。
・ 友だちと積極的に関わりながら喜びや悲しみを共感し合う。 |
| 「環境」 | ・ 自然に触れて生活し、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く。
・ 生活の中で、様々なものに触れ、その性質や仕組みに興味や関心をもつ。
・ 季節により自然や人間の生活に変化のあることに気付く。 |
| 「言葉」 | ・ 先生や友達の言葉や話に興味や関心をもち、親しみをもって聞いたり、話したりする。
・ したり、見たり、聞いたり、感じたり、考えたりなどしたことを自分なりに言葉で表現する。
・ いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする。 |
| 「表現」 | ・ 生活の中で様々な音、色、形、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむ。
・ 生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにする。 |

本園では園児が普段から畑の様子を見て苗の成長を感じながら、収穫の時を楽しみに待てるよう園内に畑を作っている。さつまいもの苗は年長児が植えて水やりをし、苗が根付く様子や葉が茂っていく様子を観察しながら収穫の日を楽しみにできるようにしている。年少・年中児にもできる作業ではあるが、本園では年長児の姿を見て憧れの気持ちを持つこと

や楽しみに待つことの喜びの体験を大切に考え、あえてさせていない。園内の散歩で畑を通ことで、さつまいもの成長に関心を持てるように働きかけている。

芋ほりにおいては、年長児がつるを引っ張り、素手やスコップを使って土を掘りさつまいもを傷つけないように収穫している。年少・年中児は、年長児が土で手を汚しながら楽しそうに収穫する姿や、土のついたさつまいもを間近で見たりすることで、年長児への憧れの気持ちや楽しみに待つ気持ちが持てるようにしながら、収穫の喜びをみんなで味わっている。

後日、園庭で行う焼き芋においては、年長児が全園児分のさつまいもをたわしで洗い、新聞紙で包む、次に新聞紙で包んださつまいもを水に浸し、最後はアルミホイルで包む下準備をする。この様子も年少・年中児は間近で見られるようにしている。年長児はお芋の扱い方や手順の意味など、担任から聞いた話を自分のものにして年少・年中児に伝えたり、みんなのために準備することに喜びを感じたりする姿が見られ、そういった年長児の姿を見せることにより、自分が年長組になった時に意欲的に取り組む姿につながるようにしている。

下準備が終わると全園児で焚火を囲み、大きな火の中にお芋を入れていく様子や煙が高く立ち上がる様子を見たり、煙の臭いを感じたりしながら焼き芋が出来上がるのを楽しみに待ち、焼きあがったお芋は、秋を感じられる園庭で皆でいただく。焼きたてのお芋を担任が子どもたちの目の前で分け、出来立てのお芋を味わいながら、匂いや色、温かさなどに気づけるようにしている。(健康・人間関係・環境・言葉・表現)

【点検・評価と今後の取り組み】

保護者アンケート調査によると、『焼き芋』に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いませんか。』の設問に対して、「思った」が95.7%、「まあまあ思った」が4.3%であった。また、『焼き芋』の話聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。』の設問に対しては、「家で焼き芋の話を何度も楽しそうに話してくれました。」「家で作ったりスーパーで買ったりするのは違って、貴重ないい経験だなと思いました。」「お芋の育つ過程を子どもたちが見て楽しみにしたり、いただいたりする経験から、食べ物に興味を持つことができていいと思いました。」「年長さんの姿を見せてもらって、年長児への憧れの気持ちを大事に丁寧に保育していることを感じました。」といった記述回答が主であり、保護者が焼き芋の取り組みについて本園が大切にしていることを理解していただけたことがわかる。今後も保護者にわかりやすく、イメージしやすいように工夫するなど理解を深めていただけるように努める。

(6) 年中組 11 月クラス懇談会

留学生との交流・英語で遊ぼうについて

【現状の説明】

本園では、2013 年度から関西大学の留学生を招き、子どもたちと一緒に過ごす時間（留学生との交流）を持ってきた。2017 年度からは留学生と英語で繋がる体験（英語で遊ぼう）

を行っている。コロナ禍で中断せざるを得ない時期もあったが、2023 年度から再開し、2024 年度は年中・年長児は 5 月から年少児は 10 月から留学生との触れ合いを持っている。

留学生との交流・英語で遊ぼうについては以下のような幼稚園教育要領の 5 領域のねらいと内容との関連を意識し取り組んでいる。

- | | |
|--------|---|
| 「健康」 | ・ 様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。 |
| 「人間関係」 | ・ 先生や友だちと共に過ごすことの喜びを味わう。
・ 自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く。 |
| 「環境」 | ・ 幼稚園内外の行事において国旗に親しむ。 |
| 「言葉」 | ・ 自分の気持ちを表現する楽しさを味わう。
・ 人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。
・ 先生や友だちの言葉や話に興味や関心をもち、親しみをもって聞いたり、話したりする。
・ 親しみをもって日常の挨拶をする。
・ 生活の中で言葉の楽しさや美しさに気付く。
・ いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする。
・ 絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わう。 |
| 「表現」 | ・ 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。
・ 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。 |

「留学生との交流」では、アジア、ヨーロッパ、アフリカ、アメリカなど様々な国から来た留学生と子どもたちが自然に触れ合えるように、「お客さん」として迎えている。留学生は日本語で子どもたちとコミュニケーションをとってくれる方も多いが、留学生の母国語を真似て挨拶を交わしたり、その国の簡単な遊びを教えてもらったりしている。また年長組では、地球儀で母国の場所を教えもらい、国の話を聞いたり、国旗を描いてもらうなどを通して様々な国に興味を持てるようにしている。

子どもたちには、留学生の優しさに触れ、一緒に楽しい時間を過ごすことで、親しみの気持ちを持ち、国境を越えた“人”の温かさを感じてほしいと思っている。そして、いろいろな国の方との出会いによって、異国への興味や関心を持ち、自分との違いを尊重できる心を育むことを大切にしたいと考えている。

「英語で遊ぼう」では週に一度、毎回同じ留学生に来てもらっている。敢えて英語のみでのコミュニケーションをとってもらい、英語で話す留学生に親しみを持つことで英語に興味や関心が持てるような取り組みを考えている。

本園では、英語を先取りして与えるのではなく、英語を話す留学生との関わりから、知りたい気持ちや聞きたい気持ちが生まれることが幼児期には大切だと考えている。英単語を

たくさん知っていることや言えることに重きを置くのではなく、英語（言葉）が理解できなくても、人との関りを大切に思い、コミュニケーションを取ることが楽しいと思う気持ちを育めるように子どもたちに働きかけている。

短時間（15分程度）ではあるが、英語で挨拶を交わしたり、手遊びをしたり、歌を歌ったり、絵本やお話をしてもらったりして過ごしている。年少組では遊びの中で英語を耳にして楽しむことから始め、年中組では英語を聞く、知る、真似る、（英語を）発することを遊びながら経験している。年長組になると、更に英語の意味や留学生の気持ちを想像したり、自分の気持ちを身振り手振りや、耳にしたことがある単語を使って受け答えをすることで伝えようと試みたりして、留学生に関心を持てる時間にしていきたいと考えている。

このようにして3年間を通して留学生と触れ合うことで外国の方とも物怖じせずに接しようとし、学童期に出会う英語に抵抗感なく取り組み、英語を学ぶ楽しさの基礎を育みたいと考えている。

クラス懇談会では、保護者によりイメージしていただけるよう子どもの様子を交えながら話した。

【点検・評価と今後の取り組み】

保護者アンケート調査によると、『留学生との交流・英語で遊ぼうについて』に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いませんか。』の設問に対して、「思った」の回答が86.7%、「まあまあ思った」の回答が10%であった。「まあまあ思った」の回答の中に、「頻度を増やしてほしい気がしました。」との記述があり、5領域と関連しているとは思いますが、話を聞いてより積み重ねることができればとの思いになったのではないかと推察される。また、『留学生との交流・英語で遊ぼうについて』の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。』の設問に対しては、「留学生との関わりから、何を話しているのかな？と人との関わりから英語を自然と学んでいけることがとても良いと思いました。人との関わりでコミュニケーションを取りたいと感じれたりすることができて良いと思いました。」「留学生の方々との時間は、娘もとても楽しみにしているように感じています。普段の生活ではそういった機会はないので、言葉の違い等にどんな反応をするか気になっていましたが、物怖じすることもなくやっているようで、毎回すごいなぁと感心しています。」「いろんな国の人と関わることで視野が広がり言葉も日本語以外を知れる機会がとても貴重で素晴らしい取り組みだと思った。息子は英語が好きになったようで、自分なりの英語を話してみたり、興味深そうにしているこのきっかけを逃さないように英語に触れる機会を作ろうと思った。」「英語を遊びの中から親しみをもつというのはとても理想的なことだと思いました。先取りの学習に重きをおくのではなく、興味を引き出してくださる方針に、とても嬉しく思いました。」等の記述があり、本園が大切にしていることを理解していただけたことがわかる。併設校だからできる取り組みとして、より充実できるようにし、保護者にも子どもを通して理解を深めてもらえるよう努めていく。

（７）年中組１月クラス懇談会

鏡開きについて

【現状の説明】

鏡開きについては、以下のような幼稚園教育要領の５領域のねらいと内容との関連を意識して取り組んでいる。

- 「健康」 ・先生や友だちと食べることを楽しむ。
- 「人間関係」 ・先生や友だちと共に過ごすことの喜びを味わう。
- 「環境」 ・季節により自然や人間の生活に変化のあることに気付く。
- 「言葉」 ・先生や友だちの言葉や話に興味や関心をもち、親しみをもって聞いたり、話したりする。
・したり、見たり、聞いたり、感じたり、考えたりなどしたことを自分なりに言葉で表現する。
・いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする。
- 「表現」 ・生活の中で様々な音、色、形、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむ。

鏡開きとは、お正月に年神様に供えた鏡餅を下げ、一年間の無病息災を願っていただく日本の風習である。本園では年始にホールで行われる始業式に、お正月の文化を子どもたちが知る機会として、お正月遊び（こま、手まり、たこ、羽子板）と一緒に鏡餅を供えている。鏡餅は、保護者によって運営されている「はぐくみの会」で準備してもらっている。１月１１日の鏡開きには全園児で分けていただいている。近年は家庭で鏡餅を飾ることも少なくなっているが、日本の伝統として伝えられてきた鏡餅を子どもたちが見て知れるようにと考え、準備してもらっている。本園の鏡餅には橙、串柿、昆布、裏白を飾り、それぞれの飾りのもつ意味（橙：先祖や家系代々の繁栄、串柿：いつもにこにこ仲睦まじく、昆布：縁起物・よろこぶ、裏白：清廉潔白）を伝えている。（言葉）

鏡開きの日、年神様にお供えした鏡餅のお下がりを全園児で分けていただくこと、神様が宿っていたお餅をいただくことで力をもらい、一年間健康に過ごせるようお願いを子どもの年齢に合わせて理解できるように伝えている。（言葉）年少・年中児は台所で焼いてもらったお餅を保育室に届けてもらい、クラス皆でいただいている。年長児は、保育室前の廊下にホットプレートを用意してお餅が焼ける様子、膨らむ様子を間近で見られるようにして、どの学年でも焼きたてのお餅の温かさや柔らかさを感じて友だちと味わうひとときをもっている。（健康、人間関係、表現）また、安全に食べるための配慮として、お餅は子どもが少しずつ良く噛んで食べられるように声を掛けたり、お茶を用意している。

【点検・評価と今後の取り組み】

保護者アンケート調査によると、『鏡開きについて』に関して、幼稚園教育要領の５領域

と関連していると思いませんか。」の設問に対して、「思った」の回答が 96.7%、「まあまあ思った」の回答が 3.3%であった。また『鏡開きについて』の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですでお書きください。」の設問に対しては、「お餅をいただいて帰ってきた日、『としがみさまのおもち分けてもらったんだ。』『もちもちでぷにぷにだった。』と嬉しそうに話していました。冬休みに実家で鏡餅を作ったことや絵本とイメージが繋がったようでした。」「日本の伝統を感じられること、そして、その意味を子どもたちのわかる言葉で大人が伝えることはとても大切だなと感じました。お家でも大切にしようと思いました。」「鏡開きの意味を子どもたちに年齢にあった伝えかたをしてくださり、実際にお餅をいただけるのは、心身を通じた理解につながるのでもいいなあと感じました。年長さんになったら教室の前で先生方がお餅を焼いてくださることを聞き、来年の楽しみ（話題）が増えました。」「家族とする鏡開きとはまた別に、友だちとすることに意味があるなと思いました。家に帰ってきてすぐに先生から聞いた話、お友だちと話した感想、におい、味、大きさなどとても嬉しそうに話してくれました。子どもにとって『特別』な日になったと思います。」等の記述があり、本園が大切にしていることをクラス懇談会での話と家庭での子どもの姿や話を重ねて聞いてくださったことで理解を深めていただけたことがわかった。今後もクラス懇談会を通じて、保護者に理解を深めてもらえるよう努めていく。

（８）年少組２月クラス懇談会

楽しいつどいについて

【現状の説明】

本園では、芸術体験を通して子どもたちの感性に働きかけたいと考え、取り組んでいる。今年度は、11月に関西大学のグリークラブ（男声合唱団）、1月に邦楽部、2月に交響楽団の方に来ていただき、演奏を聴かせてもらったり楽器を見せてもらったりした。

楽しいつどいについては以下のような幼稚園教育要領の５領域のねらいと内容との関連を意識し取り組んでいる。

- | | |
|--------|--|
| 「健康」 | ・ 様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。 |
| 「人間関係」 | ・ 先生や友達と共に過ごすことの喜びを味わう。 |
| 「環境」 | ・ 生活の中で、様々な物に触れ、その性質や仕組みに興味や関心をもつ。 |
| 「言葉」 | ・ 先生や友達の言葉や話に興味や関心をもち、親しみをもって聞いたり、話したりする。
・ したり、見たり、聞いたり、感じたり、考えたりなどしたことを自分なりに言葉で表現する。
・ いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする。 |
| 「表現」 | ・ いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。
・ 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。
・ 生活の中で様々な音、色、形、手触り、動きなどに気付いたり、感じたり |

するなどして楽しむ。

- ・生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにする。
- ・音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりなどする楽しさを味わう。

感性とは、様々な物を実際に見たり聞いたりした経験を通して育まれる心や感じる力だと考えている。「見る」「聞く」「触れる」ことなどを通して色々なことを感じ、子どもたちの感性を育てることに繋がるよう、内容を考え取り組んでいる。(健康・環境・表現)

今は、パソコンやスマートフォンで検索すれば、何でもすぐに見ることができるが、画面から届く映像や機械から出てくる音ではなく、本物の音に触れさせたいと考えている。実際に目の前で歌声を聞かせてもらい、楽器の音を聞いて、楽器の大きさを知り、奏者を見て、楽器に触れさせてもらって感じることを大事にしている。(環境・表現) その中で、子どもの発達段階を考慮し、過度な刺激にならないようにすること、子どもたちが身近に感じられるもの、子ども自身がもっと見たい、聴きたい、知りたい、やってみたいと思うことを大切に考え計画している。(健康・言葉・表現)

グリークラブの方に来ていただいた時は、子どもたちが親しみを持って聴くことができるように、聴きなじみのある身近な曲を歌っていただいた。“関大幼稚園こどものうた”や“森のくまさん”など、普段園で歌っている歌が、男声だと少し違うこと、男声特有の低い響きや、声の重なり的美しさを感じている様子があった。(健康・人間関係・表現) “森のくまさん”は学生と子どもたちが輪唱をし、子どもたちの歌を学生に聴いてもらうなど、歌う楽しさを感じることを大切に考えた。(健康・人間関係・言葉・表現)

邦楽部の方に来ていただいた時は、長唄を歌う姿や、琴、三味線、尺八を演奏する様子がよく見えるように、年少、年中、年長と各学年ごとに行った。(健康) 子どもたちは、普段見たり聴いたりすることがない和楽器の音に興味を持ち、耳を澄ませ、琴を弾く時に使う爪や、三味線の撥、尺八が竹からできていることなど、学生の方から話を聞いたり見せてもらった。あまり聴きなじみのない、昔から日本で演奏されている曲を弾いていただいたが、優しい響きや、違う楽器の音の重なりなどに興味を持って聴いていた。(環境・表現)

交響楽団の方に来ていただいた時は、管楽器と弦楽器の音の鳴らし方の違いやそれぞれの楽器の違いが感じられるように1つずつ楽器をよく見せてもらうことで楽器の大きさや違いを知ったり、どんな音がするのか耳を澄ませる経験ができるような内容を考えた。(健康) 1つ1つの楽器の音色や、音の重なりなどの響きに耳を澄ます様子があった。(環境・表現)

クラス懇談会では、楽しいつどいで大事にしていることや子どもたちの様子を保護者がイメージできるように話した。

【点検・評価と今後の取り組み】

保護者アンケート調査によると『楽しいつどい』に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いましたか。」という設問に対し、「思った」との回答が100%だった。また、『楽しいつどい』の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。」との設問に対し、「普段身近にはあまり接することができない楽器にふれることができる、とても素晴らしい取り組みだと思います。楽しいつどいの日に帰宅した子どもが興奮しながら楽器のことを話してくれたので、すごくいい経験だったんだと感じました。」「子供の頃から、大学生の演奏とはいえ本物の楽器を見られたり、音を聞けたりするのはとてもいい経験になっただろうなあと思いました。」「本物にふれる機会をつくっていただいてありがたいと思いました。またそれをお友達と一緒に見て感じたことを共有してすてきな時間をすごせていて親としてうれしいです。」「家でも、時々思い出して、『バイオリンってすごーく大きいのもあるんだよ！』などと話してくれたり、その時聞いた曲を歌ってくれたりして、良い刺激になっていると思います。これからもたくさん機会がいただけるとありがたいです。」という記述回答があった。家庭での子どもの話から、楽しいつどいで子どもが心を動かす経験をしたことを保護者が感じてくださっていたことが分かった。これからも、楽しいつどいで子どもが感じる経験を通して、私たちが大切にしていることが保護者に伝わるように努めていく。

（9）年長組2月クラス懇談会

マフラー作りについて

【現状の説明】

マフラー作りについては以下のような幼稚園教育要領の5領域のねらいと内容との関連を意識し取り組んでいる。

- | | |
|--------|---|
| 「健康」 | ・ 明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。
・ 先生や友達と触れ合い、安定感をもって行動する。
・ 様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。 |
| 「人間関係」 | ・ いろいろな遊びを楽しみながら物事をやり遂げようとする気持ちをもつ。
・ 友達と楽しく活動する中で、共通の目的を見だし、工夫したり、協力したりなどする。 |
| 「環境」 | ・ 季節により自然や人間の生活に変化のあることに気付く。
・ 生活の中で、様々な物に触れ、その性質や仕組みに興味や関心をもつ。
・ 身近な物を大切にする。 |
| 「言葉」 | ・ したいこと、してほしいことを言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりする。
・ いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする。 |
| 「表現」 | ・ いろいろな素材に親しみ、工夫して遊ぶ。 |

- ・かいたり、作ったりすることを楽しみ、遊びに使ったり、飾ったりなどする。

年長組の制作の一つとしてマフラー作りがある。子どもが自分の指に毛糸をかけて編み、作っていく。マフラー作りは両手を使い、五本の指先を意識し、網目を抜かさないように順番に編んでいくので根気と集中力を必要とする。編み始めは指の動きがぎこちない子もいるが、無理なく一人ひとりのペースで取り組めるようにし、子どものやりたい気持ちやペースを尊重することで、集中して楽しみながら編み進める姿がある。(健康・人間関係) 編み進めながら友だちと会話を楽しんだり、困っている友だちがいると教えたり、横でみてあげるなど、友だちと関わりをもち、助け合う経験も大切にしている。(健康・人間関係・言葉) 途中、間違えてもほどこいてやり直せる安心感から、気持ちの切り替えやあきらめずに挑戦する力が育まれるものと考えている。(人間関係・環境・言葉) 時間をかけて出来上がった時には、大きな喜びと達成感を味わうことができ、大切に扱う姿が見られる。(環境) また、自分で作ったものが、生活の役に立つことの喜びを感じられることも、大きな喜びと達成感につながっている。(環境・表現) この、五本の指を意識して動かす働きかけが、鉛筆を持ったり箸を扱うこと、鉄棒をにぎる等の手の細かい動きの発達へと繋がっていく。

【点検・評価と今後の取り組み】

保護者アンケート調査によると『マフラー作り』に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いませんか。」という設問に対して「思った」との回答が100%であった。また『マフラー作り』の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。」という設問に対しては、「最後までやりきった事が自信につながったようです。」「物を大事にすることの大切さに気づくこともできたようです。」「マフラーをただ作るのではなく、その過程で自分なりのこだわりを持ったり、わからないことを尋ねたりなど、様々なことと結びついているなと思いました。」「年少の時から憧れもあり、とてもいい取り組みだなと思います。」「自分で作って、自分で使う喜びを知るのが今の時代とても貴重なことと感じます。」等の記述があった。これらのアンケートや、出来上がったマフラーを大事にする子どもの様子から本園が大切にしていることを理解していただけたことがわかった。今後も取り組みを行う意味や、過程を大事にしていることを理解してもらえるようにクラス懇談会や便りで伝えることに努めていく。

5 学校関係者評価委員会からの評価結果

〈自己点検・評価の適切性〉

関西大学幼稚園では、2009年度から毎年、自己点検・評価を行っている。

2020年度からは、当園の教育内容と幼稚園教育要領の5領域との関連に焦点を当て、自己点検・評価(学校評価)が5年かけて一巡するという方法を行い、本年はその5年目であ

る。これまでの保護者アンケートではいずれの年度も保護者から非常に高い評価を得ている。

幼稚園教育要領は教育課程の基準を決めたものであるが、日常の教育について保護者が一つ一つそれを照らし合わせながら子どもの成長を確認する機会はあまりないと思われる。しかしながら、当園では5領域の内容について事前に手紙で周知した後に、クラス懇談会で幼稚園教育要領5領域と園の教育内容の関連を直接伝えている。その際、ねらいだけではなく子どもの姿を交えて話をするなど、イメージができるようにするなど、保護者の理解を深める工夫が行われており、今年度の自己点検・評価は適切に行われている。

〈重点的な取り組みの適切性〉

本年度の自己点検・評価に関して、年少組は「プール遊び」「焼き芋」「楽しいつどい」を重点的な評価内容とした。年中組は「わらべうた遊び」「留学生と遊ぼう・英語で遊ぼう」「鏡開き」についてであった。また、年長組は「おやつ作り」「縄跳び作り」「マフラー作り」についてであった。これらについて、それぞれ、幼稚園教育要領の5領域のねらいと内容との関連を意識して教員は取り組んできたことをクラス懇談会で保護者に伝えている。

まず、年少組での「楽しいつどい」と年中組での「留学生と遊ぼう・英語で遊ぼう」については、関西大学の併設校だからこそできる取り組みである。どちらも園児と学生との関わりを大事にし、お互いにとって有意義な取り組みになるように実施している。「留学生と遊ぼう・英語で遊ぼう」では、外国人留学生との交流を通して、様々な国や言語があることを知り、興味関心を深めている。様々な人との出会いを通して園児が異国への興味や関心を持ち、違いを受け入れる心を育てる取り組みとして大事だと強く感じている。英単語をたくさん知っていることよりも、英語を臆さず話せる、言葉はわからなくてもコミュニケーションをとることが楽しいと思えることに重きを置いている点が特徴であると理解している。楽しく取り組むことが、今後海外へ興味を持ち、国際理解に繋がる最初の一步になると考えている。「鏡開き」は、日本の風習であるが、鏡餅を飾る家庭が少なくなる中、当園では鏡餅を飾り、子どもたちがお正月の文化を知るとは大事な機会であると考えている。年長組の「縄跳び作り」「マフラー作り」は、自分で作りあげた達成感や愛着もあるが、作っている友だちへ気持ちを向け、声をかけたり、教えたり、見守ったりと子ども同士の関わりを育むことも大事にしていることがわかる。そして、作る過程で間違ってもやり直せることで安心でき、諦めずに取り組む気持ちになる。人生は上手くいくことばかりでなく、間違えることも失敗することもあるが、間違いや失敗を経験し、それでも諦めずに一生懸命取り組む経験を幼児期にすることは、子どもの育ちに深く関わることだと思う。

本年度の重点的な取り組みについては、ほとんどの項目について5領域と関連があると答えた保護者が95%から100%であった。様々な取り組みは活動の一つであるが、その時の教員の関わりや言動が子どもたちの成長の深く関わり、多面的に学ぶ力を育んでいると

理解する。保護者も理解し、高い評価をしていることから、本年度の重点的取り組みは適切に行われているといえる。

〈自己点検の結果を踏まえた改善方策の適切性〉

当園の学校評価では、幼稚園教育要領と5領域の関連の理解について調査し、保護者アンケートの結果を受け入れ、教員はなぜそのような結果になったのかを考え、今後どのような方法でそれぞれの項目について保護者の理解を深めることができるかを検討しており、自己点検の結果を踏まえた改善方策は適切に行われている。

当園では、時代が変化する中で、子どもの育ちを見逃すことなく働きかけながら、子どもが子どもらしい感性を持ち、心豊かに育つことを守っていきたいという強い思いが感じられる。教員は、子どもたち一人ひとりを知り、見守りながら、その子にあったより良い働きかけを模索しており、日々の丁寧な積み重ねこそが子どもたちの育ちに重要であると強く感じた。

小学校からタブレットでの学習を行い、スマートフォンも子どもの身近なものになり、様々なことが小さな画面の中で済んでしまう社会に生きる子どもたちが、幼児期に体験や経験を重ね、五感を働かせる機会を持つことの意義を考えさせられた。大人になると気づかずに通り過ぎていくことも、子どもと生活するからこそ気づけることは豊かな想像力に繋がるはずである。人の気持ちを思いやる、想像する、察することは、希薄になりつつある人間関係の中で、とても重要であり、幼児期にいろいろな気持ちを感じることがより心を豊かにするものとする。当園の教育は、幼児期の重要性を理解し、人を育てる使命を持って教育を実践しているものとする。

6 「学校評価（自己点検・評価）報告書」に対する園長の意見書

関西大学幼稚園

園長 藤川 友香

本園の学校評価は、2020年度より「関西大学幼稚園教育課程」における教育内容と幼稚園教育要領の5領域との関連に焦点を当て、点検・評価しており、今年度で教育内容を全て終える。本来は在園期間の3年で全教育内容の点検・評価を行うことが最善だと考えるが、コロナ禍に制限があり行えなかった教育内容があったこと、少人数の教員でできるだけ負担がかからないように学校評価を行えるようにしたいと考え、5年の期間を要した。幼稚園教育要領の5領域については、事前に手紙で保護者に周知し、クラス懇談会で本園の教育内容を5領域に関連づけて伝え、理解していただけるように働きかけた。

便り等で子どもの様子を交えながら教育方針や園の考えを伝えているが、保護者に直接伝えることのできるクラス懇談会は、保護者の反応を知ることでもでき、大きな役割を果たしていると考え。保護者には、クラス懇談会後にアンケートに回答していただいた。毎回アンケートの度に、記述回答に丁寧に答えてくださり感謝の思いである。記述回答を通して、

クラス懇談会での教員の話から理解したこと、思ったこと、感じたことを知ることができた。前年度からの改善として、アンケートの度に今後の改善のために協力していただきたい旨を伝えてきたことで、B回答の理由を記述してくださっている方が増えた。また、我が子に関することについては、年少組では最初は我が子が園生活に慣れるのか不安な思いから、2学期後半から3学期になると家庭での親子関係の悩みが書かれていたり、年中組では友だちとの関わりについての悩みが書かれており、年齢やその子の育ちでの保護者の悩みや迷いを知ることができた。保護者の悩みや心配事については、その都度、教員は保護者と懇談等の時間をもち、子どもについて考える機会を持つことができた。年長組では、子どもたちが園生活を楽しんでいる様子から保護者も安心していることが伝わる嬉しい記述が多かった。子育ての悩みを教員に相談する保護者もいるが、上手に子育てできていない自分を否定されるのではないかと言い出せない保護者もいると推測するので、アンケートの際に記載する場を設けることで気軽に書くことができたのではないかと思う。幼児教育は家庭との連携が不可欠であり、保護者の気持ちが子どもに伝わってしまうので、保護者が不安な気持ちや悩みを打ち明けたときに、その気持ちに寄り添い、子どもの育ちと一緒に考えていきたいと思う。

現代は、知りたいことはネットで検索すれば簡単に手に入る。しかし、子育ては、目の前の子どもを見て知り、育ちに合わせて関わることが大事であり、マニュアル通りにいかないものである。私たちは、今の我が子の現状を保護者に知っていただき、周りと比べるのではなく、我が子の姿から一緒に今を考えていきたいと思う。私たちは幼児期の3年間の関わりではあるが、子どものこれから先の育ちを考え、今幼児期に必要なこと、大事なことを常に確かめ合いながら、子どもたちに働きかけている。“人を育てる”という大事な使命を全うできるよう、日々保育に邁進していきたいと思う。

7 アンケート結果

2024 年度学校評価についてのアンケート項目一覧・実施対象者別アンケート結果比較一覧表（関西大学幼稚園）

2024 年度 関西大学幼稚園 教員対象 学校評価に関するアンケート（用紙）

2024 年度 関西大学幼稚園 保護者対象 学校評価に関するアンケート（用紙）

以 上

2024年度学校評価についてのアンケート項目一覧・実施対象者別アンケート結果比較一覧表(関西大学幼稚園)

保護者アンケート		A	B	C	D	無記入	教員アンケート		A	B	C	D	無記入
「プール遊び」に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いましたか。	全体	96.4%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	「プール遊び」では、水に親しみ、楽しめるように子どもの発達段階に合わせた指導をしていますか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
							「プール遊び」に関して、幼稚園教育要領の5領域との関連を意識して取り組むことができましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「わらべうた遊び」に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いましたか。	全体	95.7%	2.2%	0.0%	0.0%	2.2%	「わらべうた遊び」では、歌にあわせて身体を動かし、友だちと楽しんで取り組めるように働きかけましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
							「わらべうた遊び」に関して、幼稚園教育要領の5領域との関連を意識して取り組むことができましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「おやつ作り」に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いましたか。	全体	97.6%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	「おやつ作り」では、おやつを食べること、あるいは作ることを楽しみにできるように働きかけましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
							「おやつ作り」に関して、幼稚園教育要領の5領域との関連を意識して取り組むことができましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「なわとび作り」に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	「なわとび作り」では、1人ひとり子どものペースで作ることを大事にし、出来たときの達成感を感じられるように働きかけましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
							「なわとび作り」に関して、幼稚園教育要領の5領域との関連を意識して取り組むことができましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「焼き芋」に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いましたか。	全体	95.7%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	「焼き芋」では、年長児の準備を見て、出来上がりやみんなで頂くことを楽しみにできるように働きかけましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
							「焼き芋」に関して、幼稚園教育要領の5領域との関連を意識して取り組むことができましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「留学生と遊ぼう・英語で遊ぼう」に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いましたか。	全体	86.7%	10.0%	0.0%	0.0%	3.3%	「留学生との交流・英語で遊ぼう」では、言語や異国への興味関心を持ち、英語を学ぶ楽しさを感じられるように働きかけましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
							「留学生との交流・英語で遊ぼう」に関して、幼稚園教育要領の5領域との関連を意識して取り組むことができましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「鏡開き」に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いましたか。	全体	96.7%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	「鏡開き」に関して、鏡開きの意味を年齢に合わせてわかりやすく伝えるように意識しましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
							「鏡開き」に関して、幼稚園教育要領の5領域との関連を意識して取り組むことができましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「楽しいつどい」に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	「楽しいつどい」では、子どもが歌声や演奏に耳を傾け、楽器に興味を持てるように働きかけましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
							「楽しいつどい」に関して、幼稚園教育要領の5領域との関連を意識して取り組むことができましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

保護者アンケート		A	B	C	D	無記入	教員アンケート		A	B	C	D	無記入
「マフラー作り」に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いましたが。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	「マフラー作り」では、それぞれの子どものペースで取り組み、達成感が感じられるように働きかけましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
							「マフラー作り」に関して、幼稚園教育要領の5領域との関連を意識して取り組むことができましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

教員アンケート

1. 「プール遊び」では、水に親しみ、楽しめるように子どもの発達段階に合わせた指導をしていますか。

- A 指導している
- B まあまあ指導している
- C あまり指導していない
- D 指導していない

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

2. 「プール遊び」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域との関連を意識して取り組むことができましたか。

- A 意識して取り組むことができた
- B やや意識して取り組むことができた
- C あまり意識して取り組むことができなかった
- D 意識して取り組むことができなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

3. 「わらべうた遊び」では、歌にあわせて身体を動かし、友だちと楽しんで取り組めるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
- B やや働きかけた
- C あまり働きかけなかった
- D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

4. 「わらべうた遊び」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域との関連を意識して取り組むことができましたか。

- A 意識して取り組むことができた
- B やや意識して取り組むことができた
- C あまり意識して取り組むことができなかった
- D 意識して取り組むことができなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

5. 「おやつ作り」では、おやつを食べること、あるいは作ることを楽しみにできるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
- B やや働きかけた
- C あまり働きかけなかった
- D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

6. 「おやつ作り」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域との関連を意識して取り組むことができましたか。

- A 意識して取り組むことができた
 - B やや意識して取り組むことができた
 - C あまり意識して取り組むことができなかった
 - D 意識して取り組むことができなかった
- B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

7.「なわとび作り」では、1人ひとり子どものペースで作ることを大事にし、出来たときの達成感を感じられるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
 - B やや働きかけた
 - C あまり働きかけなかった
 - D 働きかけなかった
- B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

8.「なわとび作り」に関して、幼稚園教育要領の5領域との関連を意識して取り組むことができたか。

- A 意識して取り組むことができた
 - B やや意識して取り組むことができた
 - C あまり意識して取り組むことができなかった
 - D 意識して取り組むことができなかった
- B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

9.「焼き芋」では、年長児の準備を見て、出来上がりやみんなで頂くことを楽しみにできるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
 - B やや働きかけた
 - C あまり働きかけなかった
 - D 働きかけなかった
- B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

10.「焼き芋」に関して、幼稚園教育要領の5領域との関連を意識して取り組むことができたか。

- A 意識して取り組むことができた
 - B やや意識して取り組むことができた
 - C あまり意識して取り組むことができなかった
 - D 意識して取り組むことができなかった
- B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

11.「留学生との交流・英語で遊ぼう」では、言語や異国への興味関心を持ち、英語を学ぶ楽しさを感じられるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
- B まあまあ働きかけた
- C あまり働きかけていない

D 働きかけなかった

B、C、D と答えた方はその理由を書いてください。

(

)

1 2. 「留学生との交流・英語で遊ぼう」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域との関連を意識して取り組むことができましたか。

A 意識して取り組むことができた

B やや意識して取り組むことができた

C あまり意識して取り組むことができなかった

D 意識して取り組むことができなかった

B、C、D と答えた方はその理由をお書きください。

(

)

1 3. 「鏡開き」に関して、鏡開きの意味を年齢に合わせてわかりやすく伝えるように意識しましたか。

A 意識した

B やや意識した

C あまり意識しなかった

D 意識しなかった

B、C、D と答えた方はその理由をお書きください。

(

)

1 4. 「鏡開き」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域との関連を意識して取り組むことができましたか。

A 意識して取り組むことができた

B やや意識して取り組むことができた

C あまり意識して取り組むことができなかった

D 意識して取り組むことができなかった

B、C、D と答えた方はその理由をお書きください。

(

)

1 5. 「楽しいつどい」では、子どもが歌声や演奏に耳を傾け、楽器に興味を持てるように働きかけましたか。

A 働きかけた

B やや働きかけた

C あまり働きかけなかった

D 働きかけなかった

B、C、D と答えた方はその理由をお書きください。

(

)

1 6. 「楽しいつどい」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域との関連を意識して取り組むことができましたか。

A 意識して取り組むことができた

B やや意識して取り組むことができた

C あまり意識して取り組むことができなかった

D 意識して取り組むことができなかった

B、C、D と答えた方はその理由をお書きください。

(

)

17. 「マフラー作り」では、それぞれの子どものペースで取り組み、達成感が感じられるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
- B やや働きかけた
- C あまり働きかけなかった
- D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

18. 「マフラー作り」に関して、幼稚園教育要領の5領域との関連を意識して取り組むことができましたか。

- A 意識して取り組むことができた
- B やや意識して取り組むことができた
- C あまり意識して取り組むことができなかった
- D 意識して取り組むことができなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「プール遊び」についてお伝えしました。

1. 「プール遊び」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域と関連していると思いましたか。

(1 つ選んでください)

- A 思った
- B まあまあ思った
- C あまり思わなかった
- D 思わなかった

B、C、D と答えた方はその理由をお書きください。

(_____)

2. 「プール遊び」の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「わらべうた遊び」についてお伝えしました。

1. 「わらべうた遊び」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域と関連していると思いましたか。

(1 つ選んでください)

- A 思った
- B まあまあ思った
- C あまり思わなかった
- D 思わなかった

B、C、D と答えた方はその理由をお書きください。

()

2. 「わらべうた遊び」の話を聞いたり、やってみて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「おやつ作り」「なわとび作り」についてお伝えしました。

1. 「おやつ作り」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域と関連していると思いませんか。

(1 つ選んでください)

- A 思った
- B まあまあ思った
- C あまり思わなかった
- D 思わなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

2. 「おやつ作り」の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. 「なわとび作り」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域と関連していると思いませんか。

(1 つ選んでください)

- A 思った
- B まあまあ思った
- C あまり思わなかった
- D 思わなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

4. 「なわとび作り」の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

5. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「焼き芋」についてお伝えしました。

1. 「焼き芋」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域と関連していると思いましたか。

(1 つ選んでください)

- A 思った
- B まあまあ思った
- C あまり思わなかった
- D 思わなかった

B、C、D と答えた方はその理由をお書きください。

(_____)

2. 「焼き芋」の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「留学生と遊ぼう・英語で遊ぼう」についてお伝えしました。

1. 「留学生と遊ぼう・英語で遊ぼう」に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いませんか。

(1つ選んでください)

- A 思った
- B まあまあ思った
- C あまり思わなかった
- D 思わなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

2. 「留学生と遊ぼう・英語で遊ぼう」の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「鏡開き」についてお伝えしました。

1. 「鏡開き」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域と関連していると思いましたか。

(1 つ選んでください)

- A 思った
- B まあまあ思った
- C あまり思わなかった
- D 思わなかった

B、C、D と答えた方はその理由をお書きください。

(_____)

2. 「鏡開き」の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「楽しいつどい」についてお伝えしました。

1. 「楽しいつどい」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域と関連していると思いましたか。

(1 つ選んでください)

- A 思った
- B まあまあ思った
- C あまり思わなかった
- D 思わなかった

B、C、D と答えた方はその理由をお書きください。

(_____)

2. 「楽しいつどい」の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「マフラー作り」についてお伝えしました。

1. 「マフラー作り」に関して、幼稚園教育要領の 5 領域と関連していると思いましたか。

(1 つ選んでください)

- A 思った
- B まあまあ思った
- C あまり思わなかった
- D 思わなかった

B、C、D と答えた方はその理由をお書きください。

()

2. 「マフラー作り」の話を聞いて思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。
